

札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会

発行人 浅 香 博 文

札幌市西区二十四軒2条6丁目

電話 011-612-1184

FAX 011-641-8966

すすらんピック2014



出場者募集!



「札幌市障がい者スポーツ大会」(すすらんピック2014)の日程が決定しました。
この大会は第14回目を迎え、今年も5月11日の水泳競技をかわきりに市内7会場で開催されます。
毎年、約1,000人の選手と、約500人のボランティア・競技役員等の関係者が一堂に会し、障がい者のスポーツでは市内最大規模の大会です。
出場する選手はもちろん、応援に来る方も大歓迎ですので是非ご参加ください。

お申込方法

- ◆対象：身体障害者手帳か療育手帳をお持ちの方、又はそれに準ずる障がいのある13歳以上の方
- ◆申込：4月1日から各区役所広聴係・地域福祉係又は障害者団体、施設で配布する申込用紙に記入のうえ4月18日(金)必着で、札幌市障がい者スポーツ協会又は申込用紙に記載されている各競技担当者に郵送又は持参で申込みのこと。(詳細は当協会HPをご覧ください)
- ◆参加料：無料(ただし、ボウリング競技の靴代は参加者負担)
- ◆詳細：札幌市障がい者スポーツ協会 電話 612-1184 FAX 641-8966



日 程	障 害	種 目	会 場
5月11日(日)	身体的	水 泳	札幌市平岸プール 札幌市豊平区平岸5条14丁目
5月18日(日)	身体的	卓 球	札幌市身体障害者福祉センター 札幌市西区二十四軒2条6丁目1-1
	身体	アーチェリー	札幌市月寒体育館 弓道場 札幌市豊平区月寒東1条8丁目
5月24日(土)	知的	バスケットボール	札幌市白石区体育館 札幌市白石区南郷通6丁目北1
6月1日(日)	身体的	陸 上	札幌市円山陸上競技場 札幌市中央区宮ヶ丘3番地
	身体的	フライングディスク	札幌市つどーむ 札幌市東区栄町885番地
	知的	ボウリング	サンコーボウル 札幌市西区琴似4条7丁目

《平成26年度 主な大会日程》

- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
聴覚障害者バレーボール競技
北海道・東北地区予選大会
開催日：平成26年6月22日(日)
開催地：岩手県
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
精神障害者バレーボール競技
北海道・東北ブロック予選会
開催日：平成26年6月29日(日)
開催地：宮城県
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
グランドソフトボール競技
北海道・東北地区予選大会
開催日：平成26年6月7日(土)～8日(日)
開催地：仙台市
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
車椅子バスケットボール競技
北海道・東北ブロック予選会
開催日：平成26年5月31日(土)～6月1日(日)
開催地：宮城県 仙台市
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
知的障害者バスケットボール競技
北海道・東北ブロック予選会
開催日：平成26年5月31日(土)～6月1日(日)
開催地：秋田県
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
知的障がい者サッカー競技
北海道・東北ブロック予選会
開催日：平成26年6月14日(土)～15日(日)
開催地：札幌市
- ◆第14回札幌市身体障がい者ボウリング大会
開催日：平成26年7月13日(日)
会 場：オリンピックボウル
- ◆第45回政令指定都市身体障害者
親善スポーツ大会(ボウリング競技)
開催日：平成26年 8月 24日(日)
開催地：静岡市
- ◆第48回全国ろうあ者体育大会
開催日：平成26年 9月25日(木)～28日(日)
開催地：沖縄県
- ◆第14回全国障害者スポーツ大会
(長崎がんばらんば大会2014)
開催日：平成26年11月1日(土)～3日(月)
開催地：長崎県
長崎県立総合運動公園 陸上競技場 他

《平成26年2月末現在》

2014はまなす全国車いすハーフマラソン大会

開催日：平成26年6月22日(日)
 開催場所：真駒内セキスイハイムスタジアム
 種別・距離：①ハーフマラソン

②ショートレース(3キロ及び5キロ)
 ③ファミリーラン(1組3人まで)

参加料：①②は1人 2,000円 ③は1組 2,000円

申込み：参加申込書は下記協会の事務局にあります。

①ハーフマラソン：公益財団法人 北海道障害者スポーツ振興協会
 電話：(011) 261-6970 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階

②ショートレース：] 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会
 ③ファミリーラン：]

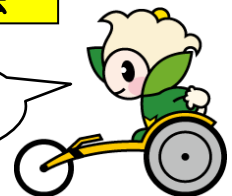
電話：(011)612-1184

札幌市西区二十四軒2条6丁目 札幌市身体障害者福祉センター内

申込用紙にご記入のうえ、参加料を添えて郵送又は上記協会へご持参ください。

締切り：平成26年4月25日(金) 必着

お知らせ





受賞おめでとうございます



平成26年2月12日(水)市内のホテルにおいて、札幌市のスポーツの普及、発展にご尽力された4名及び1団体と優秀な成績を収めた3名に対して「平成25年度札幌市民スポーツ賞」の贈呈式が行われました。

この賞は、昭和48年に創設されたもので、札幌市の体育・スポーツの普及進展に貢献し、顕著な成績を挙げた個人及び団体を顕彰するものです。

この度、知的障がい者国際スキー大会である2013INASアルペンスキー世界選手権大会などでの優秀な成績が認められ、田川聡史選手が受賞いたしました。

受賞、誠におめでとうございます。
今後も、益々のご活躍を期待いたします。



スポーツ賞を受賞した皆さん



田川選手とお母さん(中央)
浅香会長(左)札幌スキー連盟小林副会長(右)

平成25年度 専門部会・指導部会報告

平成25年12月18日(水)、身体障害者福祉センターで平成25年度の専門部会を開催いたしました。浅香会長と小林・奈須野両副会長の挨拶のあと、13名の委員の中から、部会長に下野謹也氏、副部会長に渡邊正良氏を選出し議事が進められました。

会議では、クラブ員の減少や部員の高齢化などの課題が取り上げられ、現状や解決方法等が活発に話し合われました。

会員の減少等は、クラブ連絡会でも常に話題となっていたため、「スポーツ協会だより」やホームページにクラブの活動内容を紹介し、部員獲得を試みているところです。

クラブに入会希望の方は、「スポーツ協会だより」第30号やホームページをご覧ください。



指導部会の様子

賛助会員ご加入ありがとうございました。



◆ 個人 平成25年11月 1日～平成26年 2月28日 受付順

(敬称略)

花田裕芳 西尾禊鼓 田代加代子 大谷八重子 高橋幸夫 高橋千鶴子 釣部 幸 富樫真弓
 大塚 肇 福原尊之 西村昌吾 脇 順子 渡部尚真 内藤政則 黒澤芳子 以頭奈保子
 秋山実夫 三谷深泰 大郷裕之 小野寺隆人 山田岩夫 西海泰弘 片桐トシ子 本村恵子
 鈴木淳平 豊田伸司 甲田康夫 市村貴美子 早坂侑紀奈 野宮 幸 梶下 博 山形垂未
 山形悠介 福岡正則 森口正道 堀 由利枝 森田 肇 小倉研二 野島 聡 山本 聡
 石川佳穂 松本晁章 山本ひろみ 藤原正淳 合浦直樹 北澤 博 羽田信武 山本 美
 倉知敏博 倉知永子 山本ミサ子

◆ 法人・団体 平成25年11月 1日～平成26年 2月28日 受付順

(敬称略)

ジュンスポーツクラブ	有限会社 北海道厚生義肢製作所	有限会社 喜久一
札幌市精神障害者家族連合会	北海道ハイテクノロジー専門学校	札幌福祉医療器株式会社
財さっぽろ健康スポーツ財団	札幌NFC 知的陸上クラブ	成徳学園札幌社会福祉専門学校
株式会社ほくでんアソシエ	卓球クラブアクティヴ24	株式会社エムワイコーポレーション
北海道少少林寺拳法連盟	有限会社安藤プリント	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
札幌フェンシング協会	札幌バレーボール協会	名鉄観光サービス株式会社 札幌支店
札幌ノースウインド	障害者自立活動団体 麦の会	札幌パブリック警備保障株式会社
ニチエイエン지니어リング株式会社	北ガスフレアスト南株式会社	株式会社馬場義肢製作所
(株)東洋実業	札幌市保健福祉局監査指導室	株式会社 特殊衣料
札幌国際スキースクール	札幌ファイターズ	札幌アーチェリー協会
札幌市障がい福祉課		

(平成25年4月1日～平成26年2月28日まで)

・個人会員	204件	519,000円
・法人・団体会員	80件	517,000円
・合計	284件	1,036,000円

ご寄附を頂きました

平成26年1月30日に、一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金様より、ご寄附を頂きました。心よりお礼申し上げます。

頂いたご寄附は、障がい者スポーツの普及・振興のため有意義に活用させていただきます。

ススポの伝言板

今年は、ソチで冬季オリンピック・パラリンピックが開催され大変盛り上がりました。

日本との時差が5時間あり、寝不足の日が続いた方も多かったのではないかと思います。オリンピック・パラリンピックとも日本選手の大活躍により、日本中にたくさんの感動を与えてくれました。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

さて、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが東京に決定し、障がいを持つ佐藤真海さんのプレゼンテーションが一躍話題になりましたが、「もう一つのオリンピック」と称されるパラリンピックは、イギリスのストーク・マンデビル病院で脊髄損傷患者のリハビリとして、アーチェリー大会が行われたことが起源となっております。

「パラリンピック」は「パラプレジア」(下半身麻痺者) + 「オリンピック」で日本人による造語です。

愛称として使用されていた「パラリンピック」ですが、正式名称となり下半身麻痺者以外も参加するようになったことから、「パラレル」(平行) + 「オリンピック」として再解釈されるようになりました。

そんな日本に馴染み深いパラリンピックですが、我が街札幌市では2026年の冬季オリンピック・パラリンピックの招致を検討しているとのこと。

札幌開催が実現した時のために、観戦するだけでなく、今から出場を目指してスポーツを初めてみてはいかがでしょうか。



ススポ